



TITLE:

東亞天文協會觀測部月報

AUTHOR(S):

---

CITATION:

東亞天文協會觀測部月報. 天界 1941, 21(236): 58-62

ISSUE DATE:

1941-01-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/168115>

RIGHT:

# 観測部月報

★

東亞天文協會

## ★ 黄道光課より

本田氏より十一月11日夕刻の黄道光、醍醐氏より十月27日、28日、十一月1日、3日、6日の黄道光と、十月21日、25日、27日、十一月1日、2日、3日、4日の對日照、又、大石氏より十二月5日の黄道先観測報告を受理した。大遊星の光輝を征服して、皆々立派な観測を遂行せられるのは感謝したい。醍醐氏は課長よりの依頼で、金星の輝く東天に、いろいろの遮蔽物を利用して、金星の光を遮りつゝ、黄道光が観測し得られることを實驗された。結果は甚だ良好である。其の報告の要點を下に掲げる。(山本)

先日は御ハガキにて遊星の光を木片か紙片にて遮ぎつて観測に有効か、否か、の御注意を頂きありがたうございました。非常に有効でございます。それは私、観測當初より、手は自然延びて遊星を蔽つて観測の困難を軽減いたして居りました。その後細長い紙片や黒畫板等によつて代りました。然し紙片等で遮りませず全體的に観る場合の方が有効な場合もございます。それは外側線なら外側線を全體的にその光象を連續してたどりながら眺め得られるからではないかと存じます。

遮蔽機といたしましては極く細長い(針金等の)柄の先に數櫃(3—5cm)の直径の黒圓板を付けまして遊星散光の極小部分を蔽ひ、なるべく全光象には障礙なき様いたした方が良い様に思はれます。いづれにいたしましても、遊星の輝光を眼に入れませぬ事は観測を非常に樂々いたしてくれます。

以上不備ながら御通知申上げます。

静岡縣加茂郡城東村片瀬 醍 醐 正

山 本 一 清 様

## ★ 太 陽 課 (1940年十月と十一月)

報告者は兩月とも17名、新たに下記の方々を迎へた。

廣 瀬 辨 三	廣島市皆實町	55mm 屈折 直視	×50
金 田 伊 三 吉	石川縣寶立町	30    "    "	×53
高 橋 利 繁	北海道登別溫泉	33    "    "	×37
木 村 直 樹 君	和歌山縣衛生課	12.5    "    反射	×80

殊に待望の北海道に観測者を得た事をうれしく思ふ。今後の御奮勵をお願いします。この上は臺灣、朝鮮、滿洲方面に熱心家の現れるのを期待する。

## 太陽黑點相對數報告 (1940年10月)

觀測者 (觀測地)	坂上 務(鹿兒島市山下町)	津留 繁雄(熊本市本莊町)	廣瀨 辨三(廣島市皆實町)	本田 實(瀨戶觀測所)	前橋榮太郎(大阪市明星商業)	竹內 潤(大阪市天王寺區)	樋口 操(大阪市北區)	木邊 成磨(滋賀縣中里村)	金田伊三吉(石川縣寶立町)	大石 辰次(靜岡縣吉永村)	沓掛 七二(長野縣青木村)	堀田 泰生(橫濱市鶴見區)	阿部 正明(東京市池袋)	富田弘一郎(東京市世田谷區)	森久保 茂(東京慈惠醫大)	江川 義(千葉縣柏町)	高橋 利繁(北海道登別)
口徑 mm	42	130	55	75	25	32	50	75	30	55	102	20	28	40	50	30	33
倍率	64	48	50	60	54	50	50	60	53	64	75	50	45	32	50	50	35
方法	投	投	直	直	直	直	直	直	直	直	直投	直投	投	直	直	直	直
1	曇	雨	31	53	35				23	40	53		曇	曇	59	曇	
2	41	曇	曇	雨	曇				雨	曇	曇	63	曇	33	51	雨	曇
3	42	曇	31	19	旅	15			11	0	雨		雨	37	17	27	
4	47	37	34	34	16		51		13	28	52		29	34	17	28	15
5	52	37							13	28	52		29	34	17	28	
6	64	曇	47	曇	缺	42		25	33	47	40	34	61	61	缺	17	曇
7	83	76	42	69	21	75		24	54	82	85	70	64	74	80	缺	44
8	82	54	82	45	22		87	37	60	66		69	74	81	71	缺	缺
9	82	雨	82	45	52		87	41	53	58		曇	85	85	72	缺	77
10	曇	70	70	66	53	43	83	51	75	72		54	72	72	缺	53	87
11	95	79	74	59	69	45		52	曇	97		缺	72	76	63	107	
12	曇	80	84	69	70	102	102	52	79	111		旅	78	雨	曇	缺	缺
13	雨	雨	曇	曇	85	102		52	雨	雨		曇	雨	雨	雨	曇	曇
14	曇	曇	曇	曇	83			60	雨	雨		曇	雨	雨	雨	雨	雨
15	曇	曇	曇	曇	83			65	雨	雨		曇	雨	雨	雨	雨	雨
16	75	曇	80	曇	75			曇	72	76		65	曇	曇	曇	缺	缺
17	111	92	59	75	47	39	113	51	40	93	91	曇	74	曇	曇	69	98
18	92	曇	61	70	59	41	100	40	75	74	92	曇	74	曇	曇	69	92
19	雨	曇	曇	曇	76			56	曇	74		雨	98	曇	曇	69	缺
20	曇	曇	曇	曇	曇			曇	曇	曇		雨	曇	曇	曇	曇	曇
21	曇	曇	52	46	46			雨	雨	雨		曇	缺	缺	71	71	71
22	雨	48	50	46	46			39	雨	雨	58	曇	51	曇	雨	48	83
23	曇	雨	10?	曇	曇			25	41	70	70	雨	雨	雨	雨	曇	43
24	曇	曇	曇	曇	曇			雨	雨	雨	45	62	58	45	59	41	曇
25	曇	曇	曇	曇	曇			雨	雨	雨	45	62	58	45	59	41	曇
26	83	66	21	61	39	62	54	43	36	74	60	61	52	65	42	60	60
27	115	曇	32	49	47	48	69	50	51	76	71	70	69	缺	47	84	84
28	曇	66	53	36	60			53	62	59	77	缺	79	88	34	缺	缺
29	曇	曇	曇	曇	曇			15	雨	雨		曇	82	曇	曇	66	66
30	曇	曇	曇	曇	曇			23	雨	雨		曇	雨	雨	缺	缺	缺
31	93	40	16	23	30	16	50	23	曇	曇	46	36	36	53	23	34	34
日數	13	9	16	15	19	8	11	6	25	16	21	10	11	19	12	16	14
平均	80	56	46			41	81	68	36	53	69	65	53	65	63	47	68
前月 平均	86	81			53	37	75		65	80		67	69		49		

## 太陽黑點相對數報告 (1940年11月)

觀測者 (觀測地)	坂上 務 (鹿兒島山下町)	津留 繁雄 (熊本市本莊町)	廣瀨 辨三 (廣島市皆實町)	本田 實 (瀨戶觀測所)	前橋 太郎 (大阪市明星商業)	竹內 潤 (大阪市天王寺區)	樋口 操 (大阪市北區)	金田 伊三吉 (石川縣寶立町)	木邊 成磨 (滋賀縣中里村)	大石 辰次 (靜岡縣吉永村)	木村 直樹 (和歌山縣衛生課)	沓掛 七二 (長野縣青木村)	堀田 泰生 (橫濱市鶴見區)	阿部 正明 (東京市池袋)	富田 弘一郎 (東京市世田谷區)	江川 義 (千葉縣柏町)	高橋 利繁 (北海道登別)
口徑 mm	42	130	58	75	150	32	25	30	75	55	12.5	102	20	28	40	30	33
倍率	64	48	50	60	75	50	50	53	60	64	80	75	50	45	32	50	35
方法	投	投	直	直	直	投	直	直	直	直	直	直	直	投	直	直	直
1	旅	41	13	曇	44	缺		36	缺	61		58	71	65	51	26	雨
2	"	曇	12	16	35	"	30	15	36	47		缺	57	28	40	15	25
3	"	"	26	曇	52	"		46	96	70		"	67	43	50	47	68
4	"	76	缺	51	16	"		46	75	94		118	92	56	94	55	84
5	"	63	29	68	38	28		42	44	44		91	90	39	90	54	旅
6	80	47	28	52	46	缺	89	39	45	曇		60		49	雨	39	"
7	69	雨	曇	曇	54	曇		24	缺	"		78		雨	曇	"	"
8	81	78	"	"	57	"		雨	58	"		曇		雨	曇	"	"
9	96	104	22	56	50	缺		"	101	"		87		77	89	53	"
10	曇	曇	52	72	72	"		56	49	77		92	107	67	89	68	"
11	"	60	62	53	55	34		55	55	57		66	86	56	74	58	"
12	58	71	46	旅	49	44		雨	47	40	42	曇		雨	雨	"	"
13	雨	雨	缺	曇	曇	雨		"	雨	71	曇	雨		曇	曇	"	"
14	"	曇	60	67	"	缺		50	"	曇		曇		曇	曇	"	"
15	100	95	76	92	79	77		110	87	79	108			77	100	74	"
16		93	缺	103	81	119		73	102	曇	87	曇		曇	曇		雨
17		曇	54	缺	94			82	107	"	曇	缺		"	"		缺
18		"	曇	113				83	63	"	"	102		"	"		93
19		"	雨	曇	"			雨	24	"	"	67		66	79		雨
20		雨		"	"			"	"	"	"	曇		曇	曇		68
21		曇		27	"			25	旅	25	"	"		缺	35		雨
22		37		25	20			13	"	曇	15	29		"	曇		23
23		曇		曇	曇			曇	"	曇	"	曇		曇	"		缺
24		曇		"	曇			47	"	"	"	"		雨	42	61	曇
25		曇		"	曇			雨	"	"	"	59		缺	67		雨
26		"	56	67	"			"	"	"	"	曇	76	缺	71		雪
27		缺	31	40	49	72		39	缺	38	"	71		曇	曇		曇
28	66	"	51	60	"			41	"	曇	26	曇		曇	"		"
29	52	雨	40	曇	"			曇	兩	"	26	"		缺	"		92
30	39	"	42	雨	15			雨	缺	雨	雨	雨		曇	"		曇
日數	8	11	13	16	19	7	5	20	14	13	7	14	8	12	13	10	7
平均	68	70	41	55		42		46	71	56	49	78		52	72	47	65
前月 平均	80	56				41	81	36	68	53		69	65	53	65	47	68

十月は悪天候が多く、全員でも24日が缺けた。杳掛氏の観測によると、新群21群(北半球10群、南半球11群)で、 $17^{\circ}$ 以上の高緯度群は無かつたやうである。坂上、津留氏の肉眼可視観測、富田氏の南北相對數報告等、例月通り報告された。

十一月12日は水星太陽面經過の日でした。各地の天候を併せて御覽下さい。

(本田)

## ★ 變星課より

### “白鳥座 SS 型星に就いて”の訂正

號	頁	行	誤	正
天界 232	293	17	型變光星	型變星
〃	〃	18	型變光星	型變星
〃	294	13	R CvB 型	R CrB 型
233	328	30	UZ Scr	UZ Ser
〃	329	2	類	類型
〃	331	23	視は	視)は
〃	332	14	解決した.	解決した).
234	359	5	研究のでは	研究では
〃	〃	19	である,	である.
〃	360	6	眞實的	實實的
〃	〃	26	符號	符合
〃	361	12	に示された	にも示された
〃	〃	26	光分型	分光型

追記. 其他譯語上の不備はお許し願ひます。猶ほ、我々同人の観測結果に依る部分は、目下整理草稿中ですから、暫く御猶豫願ひます。(木邊)

## ★ 流星課報告 (110)

課長 小 槇 孝 二 郎

二月は一年中流星の最も少い月である。月初のまきを座流星群( $\alpha=213^{\circ}$ ,  $\delta=+52^{\circ}$ )は多少期待される。

× × × × ×

昨年上半期(1月—6月)の観測概要を報告する。

観 測 者	(略符)	観 測 地
小 槇 孝 二 郎	Ko	和歌山縣金屋
吉 井 耕 一	Ys	廣島縣竹原町
川 人 武 正	Kw	香川縣歎青寺町
江 川 義	Eg	千葉縣柏町

## Daily Summary of Meteoric Observations, Jan.—June, 1940. 觀測の概略

Date	Obs.	Begins	Ends	Dur.	Factor	Meteors	Remarks
月 日	觀測者	觀測開始	觀測終了	時間數		流星數	備考
Jan. 6	Ko	4 18	4 58	40	0.6	6+*2	Q1?
— 3	Ys	5 30	6 0	30	0.5	*3	
月 4	//	5 44	6 04	20	0.5	*11	
5—	//	22 55	1 10	135	0.7	14+*1	Q6
8	//	2 35	4 0	85		15	
9	//	2 05	4 20	135	0.8	21+*4	
11	//	3 15	4 30	75	0.8	16+*3	
15—	//	23 05	1 05	120		6+*1	
4	Kw	3 20	4 20	60	0.3	5	Q2
Feb. 10	Kw	19 0	20 30	90		2	
Mar. 1	Kw	21 0	22 0	60	0.8	3	
三 3	//	3 30	4 30	60	0.8	3	
月 27	//	21 0	22 0	60	0.9	2	
Apr. 5	Ys	23 0	24 0	60		2+*3	
四 9—	//	23 20	0 30	70		7+*2	
月 10—	//	23 20	0 30	70		3+*1	
May 6	Ys	2 53	3 53	60	0.7	13+*3	ηA10
五 10	//	1 25	3 25	120	0.6~0.7	15+*2	
月 14	//	0 05	1 05	60		4+*1	
31	Yw	21 0	22 0	60		2	
4	Eg	3 10	3 45	35		3	δA2?
6	//	20 10	20 40	30		2	
June 1	Kw	21 0	22 0	60	0.9	2	
六 2	//	21 0	22 0	60	0.8	1	
月 3	//	21 0	22 0	60	0.6	1	
6	//	21 0	22 0	60	0.7	2	
11	//	21 0	22 0	60	0.8	2	
12	//	21 0	22 0	60	0.5	1	
13	//	21 0	22 0	60	0.5	0	
14	//	21 0	22 0	60	0.6	1	
18	//	21 0	22 0	60	0.5	0	
19	//	21 0	22 0	60	0.4	0	
20	//	21 0	22 0	60	0.3	0	
21	//	21 0	22 0	60	0.4	0	
22	//	21 0	22 0	60	0.6	1	
24	//	21 0	22 0	60	0.7	2	

## Q 四分儀流星群

## ηA 水瓶座 η 流星群

川入氏の六月中の觀測中には蝎座流星群のもの及びキンネケ流星が若干ある由通知された。この外に、坂上務氏(鹿兒島), 南時生氏(大阪府)より火球の報告あり。